



2007年2月16日 第296号

# スズキ労連

2007年  
2月号

静岡県浜松市増楽町20  
電話 (053) 447-3079  
スズキ関連労働組合連合会

発行人 加藤 幸博  
編集人 光田 玄

## スズキ労連の仲間達をご紹介「うちの組合」

### 単組名：ベルソニカ労働組合

- 所在地：湖西市山口630-18
- 組合員数：242名
- 結成年：1961年
- 委員長名：大石 和彦
- レポーター名：大石 和彦
- 紹介文

前列左から佐原副委員長、大石委員長、後藤書記長  
後列左から渡辺執行委員、坂本副委員長、村松執行委員



ベルソニカ労働組合は昭和36年に湖西市吉美に鈴弥産業労働組合として結成され昨年の10月の定期大会で46年目となりました。

執行部は上部派遣役員を含め11名で構成し、本社工場とスズキ(株)湖西工場の近くに在るB工場のそれぞれで分かれて、組合員と協力して活動を行なっています。

組合活動では、新組合員講座等の教育関係と組合員の家族も含めてのレクリエーションとして、旅行などを企画しています。

現在の組合員の人数としては242名で、過去20年で100名もの増加となり、定期新入組合員への教育は行なっていますが、中途社員の組合教育がなかなか行なえない悩みがあります。しかし、今後も会社の拡大に伴う社員の増加に対して全員が幸せになれるような活動をしていきたいと思ひます。

今後も見放さず皆様のご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。

### 単組名：スズキ新潟販売労働組合

- 所在地：新潟市紫竹山1-3-23
- 組合員数：82名
- 結成年：1964年
- 委員長名：長谷川 豊
- レポーター名：渡辺 和宏
- 紹介文

前列左から番場執行委員、渡辺副委員長、長谷川委員長、山崎副委員長、石附執行委員  
後列左から奥村執行委員、伊勢亀執行委員、田中書記長、阿部執行委員、荒木執行委員



当組合の歴史は結成してからは40年ほど過ぎております。その中、スズキ労連に加盟して3年生になります。当社は新潟県が上越、中越、下越と三つに分かれているなか、新潟市がある下越地区のスズキ車の販売、修理、部品販売をしております。当社はオーナー会社のため、自販新潟さんと一緒にスズキ車を一台でも多く販売するため、努力しております当組合としては今までの友好的な労使関係を維持し、厳しい市場環境の中、少しでも組合員の声に応えられる組合をたえず目指し、頑張る限りであります。正直まだまだ力不足のところがあり私達の頭を悩ませることが多くありますが、スズキ労連を通していろいろ勉強させていただいております。今後ともよろしくお願い致します。

## 第57回中央委員会開催

### 2007年総合生活改善の取り組みスタート!



第57回スズキ労連中央委員会

スズキ労連は2月2日(金)に第57回中央委員会を開催し、春の総合生活改善の取り組み方針案を審議のうえ満場一致で決定いたしました。各単組は今後この方針をもとに、職場討議を経て、要求内容を機関決定していきます。

#### 《第57回スズキ労連中央委員会》

日時：2月2日(金) 18:00~20:20  
会場：スズキ労働会館3F 大ホール  
出席者：中央委員 75名(定数80名)  
傍聴者 47名  
役員・来賓等 38名 合計160名

#### 《2007年総合生活改善の取り組み具体的要求内容》

1. 賃金引上げ
  - ①平均賃金引上げ  
賃金制度維持分+賃金改善分  
各組合は、水準向上や格差・体系是正に向け、賃金改善分を設定することを基本とします。
  - ②個別ポイント絶対水準要求  
・現行のポイント基準(35歳・高卒・勤続17年・技能職<但し、製造部門以外はそれに準じた職種>4人世帯)を水準とし、賃金改善分については、各組合の判断により設定します。  
・各組合は、以下の基準を参考に自社に合った水準への引き上げを目指すこととします。  
基準Ⅰ 292,000円      基準Ⅱ 257,000円      基準Ⅲ 235,000円
  - ③企業内最低賃金協定の締結  
18歳………150,500円以上
  - ④年齢別最低保障賃金  
20歳 155,500円      25歳 174,500円      30歳 207,000円  
35歳 229,500円      40歳 247,500円      45歳 256,500円
2. 年間一時金
  - ①月数      年間5ヶ月以上または昨年獲得実績以上を基準とする。
  - ②最低保障制度      40%以上を基本とする。
3. 労働時間短縮
  - ①有給休暇取得向上の取り組み
  - ②所定外労働時間の削減に向けた取り組み
4. 政策制度課題への取り組み
  - ①格差是正に向けた取り組み
  - ②働くものためのワークルールを実現
  - ③自動車関係諸税への取り組み

#### \*取り組み日程

●要求提出	スズキ労組	2月14日(水)
	スズキ労組以外	2月21日(水)
●統一交渉日	第一回目	2月21日(水)
	(統一交渉は計3回行います。)	
●回答指定日	3月内決着を基本とします。	

## 2006年クリスマスフェスタ・チャリティバザー

### 収益金寄託のご報告とお礼

1月30日(火)中日新聞社会事業団 東海本社にクリスマスフェスタでのチャリティバザー(スズキ労組・湖西支部担当)収益金16,070円を寄託いたしました。寄託金使途は主に生活保護を受けている家庭のお子さんに図書券を配布するといった地域福祉の向上に使われるとのこと。今回は多くの組合員の皆さんにバザー品を提供していただきました。皆様のご協力に深く感謝し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



\*写真：中日新聞東海本社にて

COMING SOON!!

# スズキ労連 ホームページ 完成間近!

## 2月末アップ予定! 乞うご期待!!



加藤会長

## 加藤会長挨拶

### <取り巻く環境>

現在の日本経済は、輸出の拡大や設備投資が主導し、景気は拡大基調を続けているといわれています。一方で、世界というグローバルな視点から見れば、日本企業は今まさに世界的な構造変化の中で、多くの課題をかかえながら進行している状況にもあると認識しています。

こうした状況の中で、私たちが働く自動車産業も、国内市場の成熟化の中で、海外への依存度を更に高めながら進行している状況にあります。昨年1-12月の四輪の生産台数は、1148万台と1993年以来13年ぶりに1100万台を超え、産業としても職場においても繁忙感のある1年であったと思っています。しかし一方で、国内販売が574万（昨年比1.9%減）と97年以降連続して600万台を割り、国内生産に占める輸出割合は52%と87年以来実に19年ぶりに50%を超えました。二輪においても四輪においても海外や輸出が引っ張る、現在の生産の拡大は、為替の変動や現地の経済状況・貿易摩擦の再燃など常に多くのリスクを抱えながら進展しているもの現実です。一方でBRICsをはじめとして海外の旺盛な需要が、ますます伸びていく可能性は大きなものがあります。

こうしたリスクとチャンスが混在する中で、スズキグループはチャンスに向かってチャレンジしていく訳ですが、私たちが将来にわたって強固な生活基盤を構築していくためには、よりよい商品づくりと同時に、人を視点とした運動体である労働組合の果たす役割と責任はますます大きくなっていると思います。

### <スズキグループの状況>

こうした状況の中で、スズキグループは、依然として利益率の更なる向上や開発投資という課題はあるものの、連結売上で3兆円、経常利益1300億円と、大変厳しい市場環境の中にあって数字の上では、全員の努力が成果として表れる形で終われそうです。これは、各職場において商品力の強化やコストダウン・懸命な販売努力を通じて、競争力の維持と強化に向けて、一人ひとりがそれぞれの職場で日々努力をしてきた成果であると思います。

また、先に発表された2007年の計画を見ても、忙しい状況が続くことが予想されます。こうした時こそ、働く者のモチベーションを高めていくことが不可欠です。魅力ある企業づくりを会社に求めていくと同時に、労働組合としても職場とのコミュニケーションを図りながら活力ある職場づくりの推進をしていきたいと思ひます。

また、引き続き、安全や品質・コンプライアンスという基本を大切に、労働組合の役割であるチェック機能の充実を更に強化し、労働組合の立場で安全という社会的な責任を果していきたいと思ひます。

### <春の取り組みに向けて>

この春の交渉は、これまで会社施策に対して全力で取り組み、生産性の向上を通じて付加価値を高めてきたという自負を持ちながら、さらに中期5カ年計画の3年目にあたる来期も、全員で力を合わせて課題を克服し、10年先20年先の発展に向けて、人への活力を育むための応えを求めてまいります。また、会社がそれに答えることが、やりがいと働きがいの持てる企業づくりにつながり、ひいては企業の永続的な発展につながると思ひます。

この春の労使での話し合いは、そうした組合員のひたむきな思いを持って職場と一体感のある交渉を展開していきたいと思ひます。また、この春の取り組みは、賃金・一時金といった労働条件を決定する場であると同時に、その前提となる経営状況や課題・将来への展望や自分たちの働き方について話し合う場として中長期的な観点からも大きな意義があります。

この春の取り組みを通じて、総労働時間短縮の課題や技術、技能の伝承・人材の確保・仕事のしくみ・働き方などをテーマに、魅力ある強い職場づくりに向けて、今何をすべきか。ぜひ、各組合での積極的な労使議論をお願いいたします。

### <政策制度の改善に向けて>

現在の日本は、いざなぎ景気を超える記録的な好景気といわれています。しかし、非正規社員やニートと呼ばれる若年層の増加に加えて、企業間格差・個人所得が拡大し、さらに税の負担をはじめとして個人負担が増加し、残念ながら好景気という実感は程遠いものがあります。これらの多くは、国や地方の施策に期待するものばかりです。

今こそ、一生懸命働き税金を納めている者が報われる社会。そして、その税金を有効に使い活力ある社会を創っていくという視点が大切です。

そのためには、何といっても政治やしくみを変えていく必要があります。そうした意味から、本年4月の統一地方選挙・7月参議院選挙は極めて大きな意義を持っています。「田口章さん」「池口修二さん」「榛葉賀津也さん」はもちろんのこと、支援する候補予定者全員の必勝を期して取り組んでまいります。

今は、時代の転換期にあり将来の方向性を決めていくのは、私たち国民の一人ひとりの選択にかかっています。働くものの権利を十分生かし、安心できる社会を目指して取り組みを進めてまいります。

### <最後に>

さて、いよいよ2007年春の取り組みがスタートします。

今後、具体的な要求案をつくっていくわけですが、組合員には求心力を会社には交渉力のある要求を構築し、交渉を通じて来期以降も組合員全員がモチベーションを上げながら、更なる発展と生活の向上を目指していく。そんな充実した春の取り組みを展開していきたいと思ひます。ともにがんばりましょう！

「2007年総合生活改善の取り組み」スローガン採択  
力を合わせて、ともに前進！  
みんなで築こう明るい未来！

### 【報告承認事項】（報告者）

- ①中間活動経過報告（古川事務局長）⇒拍手にて承認
- ②中間会計決算報告（佐藤事務局次長）⇒拍手にて承認
- ③中間会計監査報告（野牧会計監査人）⇒拍手にて承認

### 【議件】（提案者）

- ①「2007年総合生活改善の取り組み方針（案）」（小杉中執）⇒挙手にて承認
- ②「平成19年統一地方選挙必勝決議（案）」（内山副会長）⇒拍手にて承認



古川事務局長の報告



賛同者の方々



小杉中執・佐藤事務局次長の提案



総合生活改善取り組み方針は満場一致で承認



池口修次参議院議員

榛葉賀津也参議院議員代理：細井様

### 【各委員の皆さん】（☆印は委員長）

- 議長：笠原裕次郎（スズキ労組高塚支部）・鈴木保夫（エステック労組）  
 資格審査委員：☆菅沼伸好（スズキ労連中執）・松橋賢（部品秋田労組）  
 山本淳（部品富山労組）・後藤智彦（スズキ販売労組）  
 議事運営委員：☆根木一暢（スズキ労連中執）・山崎良也（スズキ新潟労組）  
 川島正士（浜松パイプ）・澁谷繁雄（遠州精工労組）  
 書記：藤田真里（小楠金属・熱処理労組）・小澤真由姫（スズキ労連）  
 司会：村松寿明（スズキ労連中執）

### 【来賓の方々】

- 池口修次参議院議員（自動車総連顧問、次期参議院議員選挙組織内候補予定者）
- 榛葉賀津也参議院議員代理：細井貴光様

## ラストスパートに向けて… 統一地方選挙必勝決議採択!



決意を述べる田口副会長

本委員会では特別決議として「平成19年統一地方選挙必勝決議（案）」が内山副会長より決議文を読み上げる形で提案され、全員の大きな拍手で承認されました。本番までわずか2ヶ月足らずとなった時点でのこの提案では、再度、全組合員の心あわせを行い、必勝に向けて労連一丸となって、“目的”を貫徹するという強い決意が再確認されました。

その後、スズキ労連組織内候補予定者・田口章（たぐちあきら）副会長が登壇、加盟単組のいままでの協力体制への感謝とともに統一地方選挙に向けた力強い決意を述べ、ラストスパートに向けた意気込みと、更なる組織力強化の必要性を訴えました。

今度の統一地方選挙は勤労者に軸足を置いた政治を実現するためには何が何でも勝利しなくてはならない取り組みであると同時に、スズキ労連の組織力自体が問われる機会ともいえます。本委員会では「総合生活改善取り組み方針」の採択と並んで重要課題として位置づけられ、締めめの宇野中執による「団結ガンバロー三唱」でも春の取り組み2本柱のひとつとして団結が呼びかけられました。力のこもった「ガンバロー」の音頭のもと全員が必勝の決意を新たにしました。



決議文を読み上げる内山副会長



全員で「ガンバロー」三唱

### たぐちあきら 田口章後援会事務所を開設します

みなさんお気軽にお立ち寄りください。

○事務所開き

■日時：2月25日（日）11時～

■場所：浜松市入野町 9817-1 ■TEL：440-7100

